

科目ナンバー	SEM-1-001-ky	科目名	基礎演習I (奥田)		
教員名	奥田 雄一郎	開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	<p>心理・人間文化コース:基礎演習Iにおいては、大学生活に必要なノートのとおり方、図書館やコモンズなどの学習環境の活用方法、レポートの書き方、発表の仕方、プレゼンの仕方などの、大学生活に必要な最低限とされるアカデミック・スキルを学ぶことにより「生徒から学生になる」ことを目指します。</p> <p>また、友達を作る、キャンパスを知る、大学生活に慣れる、4年間の学生生活に必要な基礎的なことを体得することを目的とします。</p>				
到達目標	<p>基礎演習Iにおいては以下の3点を目標とする。</p> <p>①4年間の大学生活を送る上で同級生となる心理・人間文化コースの同級生たちとのつながりを作ること。</p> <p>②大学で学ぶ上で必要最低限のアカデミックスキルを修得すること。</p> <p>③共愛学園前橋国際大学という大学を知り「生徒」から「学生」になること。</p>				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>基礎演習は心理・人間文化コースの1年生全員で行う回と、個別のゼミでのグループ活動を行う回があります。</p> <p>各回とも、聞くだけの授業ではなく、グループワークやディスカッションなどのアクティブラーニング形式の授業が行われるため、学生の積極的な参加が求められます。</p> <p>レポートなどの課題の提出があり、提出の翌週以降に、担当教員から口頭での解説、コメントなどのフィードバックがあります。</p> <p>各回の授業ではSA(基礎ゼミサポーター:2年生以上の学生スタッフ)が授業をサポートしてくれます。</p>				
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	
受講条件 前提科目	心理・人間文化コースの学生であること				
アセスメントポリシー及び評価方法	レポート(80%)ディスカッションなどへの参加度(20%)によって総合的に評価する。				
教材	適宜配布します。				
参考図書	森 靖雄『大学生の学習テクニック』大月書店 函館大学基礎教育研究会『ちょっと向学心 自分を磨くおもしろ技法』北海道新聞社				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	心理・人間文化コースによるこそ				
授業外学修内容	コースの名簿を作成し、自己紹介シートなどの課題があります。			時間数	1
2週目					
授業学修内容	大学のキャンパスを知る①図書館・宣教師館 図書館スタッフを中心に図書館のガイダンスを行い、共愛の歴史への理解を深めるために宣教師館を訪れます。				
授業外学修内容	図書館の利用の仕方について理解し、実際に本を借りてみます。			時間数	1
3週目					
授業学修内容	大学のキャンパスを知る②ラーニング・コモンズ・学生相談室・保健室 コモンズコンシェルジュを中心にKYOA COMMONSのガイダンスを行い、学生生活におけるメンタルサポートのガイダンスを受けます。				
授業外学修内容	コモンズについての簡単なクイズを行います。			時間数	1
4週目					

授業学修内容	アカデミックスキル①心理・人間文化コースとは 自分たちが学ぶ心理・人間文化コースについて、サポーターの先輩たちにプレゼンテーションを行ってもらいます。		
授業外学修内容	プレゼンに対して、感想を作成します。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	アカデミックスキル②ノートの取り方 大学生として、講義の際のノートの取り方を先輩たちが実例をあげながらレクチャーし、その後グループワークを行います。		
授業外学修内容	ノートの取り方についてリフレクションを行います。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	アカデミックスキル③発表・討論の仕方 大学生としての発表・討論の仕方を先輩がレクチャーし、その後グループワークを行います。		
授業外学修内容	発表・討論の仕方についてリフレクションを行い、次週の発表の準備を行います。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	グループワーク 発表・討論1人10分程度の発表を行い、その後討論を行います。		
授業外学修内容	発表・討論の仕方についてリフレクションを行います。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	先輩によるプレゼン① 2・3・4年生の先輩たちが、正課外活動として授業外でどのような活動を行っているのか、いくつかの事例を紹介してもらいます。		
授業外学修内容	プレゼンに対して、感想を作成します。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	グループによるプロジェクト学習 グループで行うプロジェクト学習について、プロジェクトの進め方、発表の仕方などについて学ぶ。		
授業外学修内容	ゼミのメンバー・コースのメンバーとの親睦を深めます。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	レクリエーション① コース学生教職員の親交を深めるためにレクリエーション型ワークを行います。		
授業外学修内容	ゼミのメンバー・コースのメンバーとの親睦を深めます。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	レクリエーション② コース学生教職員の親交を深めるためにレクリエーション型ワークを行います。		
授業外学修内容	ゼミのメンバー・コースのメンバーとの親睦を深めます。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	プロジェクト課題発表会 ポスター形式で、グループプロジェクトの成果を発表する。		
授業外学修内容	プロジェクト発表のリフレクションを行う。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	アカデミックスキル④レポートの書き方 大学生として、レポートの書き方をラピタデスクの学生たちにレクチャーしてもらい、その後グループワークを行います。		
授業外学修内容	発表・討論の仕方についてリフレクションを行います。	時間数	1
14週目			

授業学修内容	上級生によるプレゼン コースの上級生達から、後輩たちに向けてのアドバイスをプレゼンテーションしてもらいます。		
授業外学修内容	プレゼンに対して、感想を作成します。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	これまでのまとめと振り返り		
授業外学修内容	これまでの活動についてリフレクションを行います。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		15	
その他に必要な自習時間		75	

Number	SEM-1-001-ky	Subject	Freshman Basic Seminar I		
Name	奥田 雄一郎 (Okuda Yuichiro)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>The aim of this course is to help students acquire the necessary knowledge and academic skills needed for achieve a better performance in their university studies. For example, short report, presentation, and note taking. At the end of the course, students are expected to become "Undergraduates".</p>				